

2013年2月北海道支部イベント報告書

開催日時： 2013年2月2日（土）10:00～18:00

会場： さっぽろテレビ塔 2階会議室
（札幌市中央区大通1丁目 さっぽろテレビ塔）

テーマ： ファシリテーションで拓く 私と社会の明日

目的：

イベント全体のテーマを『ファシリテーションで拓く私と社会の明日』とし、参加した会員、非会員と共に、人と人、組織同士の「つながり」を促進するために必要なファシリテーションを用いた対話手法を学ぶことを目的とした。

イベント午前中の小テーマを「つながる」とし、参加者全員が、共有、共感はもちろん、対立もし合える関係性をきずきあうことを狙い。

午後の小テーマは「生み出す」とし、話題提供者の渡辺さん、森さんのお二方が登壇するワークショップを通じ、それぞれの明日につながる何かを見つけることを目的にワークショップを実施。

イベント終了時には、参加者全員が、生み出したい、生み出せる、という気づきや学びを持ち帰って頂くことを期待する。

後援： 北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会

協賛企業・団体：

石屋製菓株式会社

サッポロビール株式会社北海道本社

NPO 法人北海道食の自給ネットワーク

・ ケーキハウス ティンカー・ベル（北見市）

・ ベーカリーパオン円山店（札幌市）

株式会社ヤクルト本社

書籍販売： 株式会社紀伊國屋書店札幌本店

参加者数 : 161名 (定員150名)
全申込み人数 173名
キャンセル者数 12名 (内、未返金者数2名)

<参加者内訳>

会員 63名 (道内56名、道外7名)、非会員 93名、学生 5名
セッションA 124名 セッションB 36名

参加料 : 会員 2,800円、非会員 3,000円、学生 2,500円

会計報告 : 収入 473,900円 支出 514,869円
収支 △46,969円

事前配布チラシ (A4 版)



当日チラシ (A4 版二つ折り)



プログラム

9:30～ 受付開始

10:00～11:30 オープニング

11:30～12:30 ランチ

12:30～15:30 個別セッション

セッション A 組織の生活習慣病を治せ！
—組織トレーニングの勧め—
(話題提供者：森時彦氏)

セッション B ファシリテーションとデザインの〈あいだ〉で
—人と社会をつなぐ技術のこれから—
(話題提供者：渡辺保史氏)

16:00～17:00 クロージング

17:00～18:00 茶話会

セッション名	オープニング
開催日時	2013年2月2日(土) 10:00~11:30
会場	さっぽろテレビ塔 2階会議室(すずらん、はまなす、あかしあ)
メインファシリテーター	杉田 恵子(スギタ)
コーディネーター	-
参加者数	161名
セッション内容	<p>シアター型でスタート。</p> <p>1. 開会セレモニー(7分)</p> <p>① オープニング映像の視聴</p> <p>② 実行委員長挨拶</p> <p>③ 諸注意・連絡事項・タイムスケジュール説明</p> <p>2. 全体セッション(23分)</p> <p>① 自己紹介準備ワーク 氏名・お住まい・参加したきっかけ・今の気持ちを1人ワークで記入</p> <p>② ペアリング ①の内容をもとに自己紹介</p> <p>③ ペア同士4人グループになる (ア)他己紹介 (イ)今日のイベントに期待することを4人で洗い出し 人数調整の都合で4~6人のグループにはなったが、会員非会員問わず活発に話し合われた。</p> <p>3. 話題提供者とのセッション(60分)</p> <p>① プロフィール説明</p> <p>② それぞれの立場から現場での実践について話してもらう</p> <p>③ グループごとに話題提供者への質問を出し、回答してもらう</p> <p>ファシリテーションスキルについてやこれまでの具体的な体験談についてなど、多くの質問が積極的に出された。</p>

司会の二人（スギタ、みー）



開催の趣旨を聴く参加者

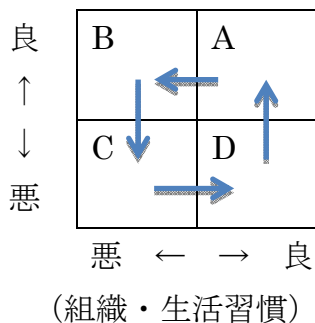


話題提供者とのセッション



セッション名	セッション A 組織の生活習慣病を治せ！—組織トレーナーの勧め—
開催日時	2月2日（土） 12：30～15：30
会場	さっぽろテレビ塔 2階会議室（すずらん、はまなす、あかしあ）
メインファシリテーター	森 時彦 氏（FAJ フェロー）
コーディネーター	酒井 麻里（まり）
参加者数	126名
セッション内容	<p>7人1グループになって、アイランド型でスタート。</p> <ol style="list-style-type: none"> 組織の生活習慣病とは？ ～導入のレクチャー アイスブレイク：うそつき自己紹介 森さんの「うそつき自己紹介」を聴き、各グループで「うそつき自己紹介」を実施。 レクチャー1：GroupThink（集団愚考） 業績や組織の生活習慣が悪くなった組織（C）は、業績を上げることで組織の習慣を改善できない。必ず C→D→A の流れでしか変わらない。 ワーク1：組織の生活習慣病を洗い出す <ol style="list-style-type: none"> ① グループで「組織の生活習慣病」を付箋に書き出し共有。 違う組織から集まった参加者の間で活発な話し合いが交わされた。 ② バザール（各グループがまとめた模造紙を相互に閲覧） レクチャー2：組織の生活習慣病を治すために（1） <ol style="list-style-type: none"> ① 組織の憲法を作る ～3つくらい、みんなで決めること 優れた憲法は心に残る（正しいが心に残らないのはNG） ② 組織トレーナーを置く ～ファシリテーションが必要 ＜事例紹介＞（株）セディーヌ 信販事業の変革が課題 上意下達から全員参画へ、接客重視からデータ分析重視へ 憲法：「何を言ってもいい」「できないと言わない」 成果：毎年10%収益改善、問題解決のアプローチの変化 業務の見える化 ワーク2：組織の憲法を作ってみる <ol style="list-style-type: none"> ① 架空の医療機器販売会社の憲法をグループで検討 ～家族から誇りに思ってもらえる会社

（業績）



② 全体共有

7. レクチャー3：組織の生活習慣病を治すために（2）

<組織トレーニングのポイント>

③ 毎週のリズムを作る ～慣性力は大きな力、毎週やること

④ 指標を設定する ～人は評価されることで行動を変える

⑤ 持続する工夫をする

8. ワーク3：組織トレーニングの方法は何につかえるか？

① 組織トレーニングの方法（前項①～⑤）の応用。

日常生活で何に応用できるかディスカッション。

② 全体共有

9. 質疑応答

話題提供者のレクチャー

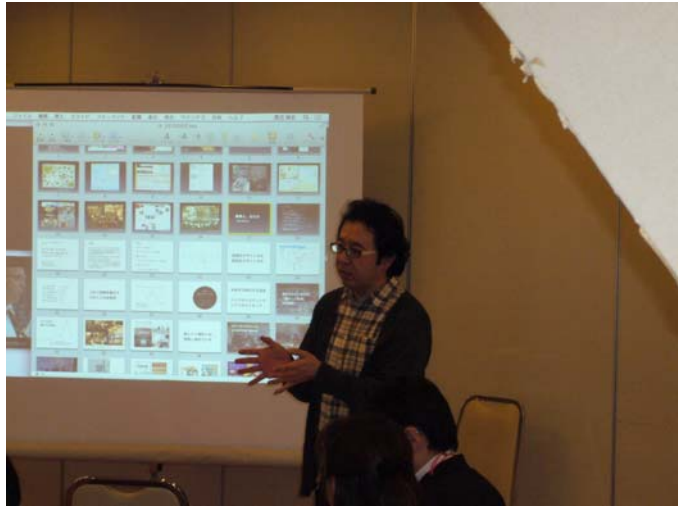


意見を出しあう参加者



セッション名	セッション B
開催日時	2013年2月2日 12:30～
会場	さっぽろテレビ塔 2階会議室（しらかば）
メインファシリテーター	渡辺保史
コーディネーター	本宮大輔（もっくん）
参加者数	31名
セッション内容	<p>4人1組のグループになって、アイランド型でスタート。</p> <p>1. 渡辺さんからのファシリテーションとデザインの関係についてのレクチャーと、各種実践の紹介。（45分）</p> <p><概要></p> <p>ファシリテーションを実践していく上でいろいろなものデザインしていくこともあるが、プロトタイピングのようにデザインの現場にもファシリテーションはある。今回は様々な材料を確認し、未来像を描いた上で、バックキャスト的に進めていく。</p> <p>2. ワーク1：タイムライン（40分）</p> <p>① 「最近20年間で私たちはどのような変化を体験したのか」を出しあう。</p> <p>② 「今後20年間で私たちはどのような変化を体験しようか」を考える。</p> <p>③ 20年後の望ましい社会を考える。</p> <p>（休憩）</p> <p>3. ワーク2：マイクロプロジェクト（40分）</p> <p>グループメンバーが得意なことやできることを出しあって、新しいプロジェクトを企画する。出来上がったら、企画書にして壁に貼り出す。貼り出されたものに各人がコメントを付箋に書いて、企画書に貼る。コメントがついた企画書を各グループに持ち帰って振り返り。</p> <p>4. 振り返り</p> <p>グループメンバーを変えて、このプログラムで思ったことを話し合う。</p> <p>5. クロージング</p> <p>渡辺さんからアラン・ケイの言葉を紹介し、質疑を行って終了</p>

話題提供者のレクチャー



ブレスト中の参加者



バザールで意見を共有



セッション名	クロージング
開催日時	2013年2月2日(土) 16:00~17:00
会場	さっぽろテレビ塔 2階会議室(すずらん、はまなす、あかしあ)
メインファシリテーター	三上真広(みー)
コーディネーター	-
参加者数	161名
セッション内容	<p>参加者全員でシアター型から複層サークル型へ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロ1 クールダウン(3分) 映像と音楽で1日の流れをレビュー。 2. イントロ2 MFから全体インストラクション(3分) クロージングの目的説明 <ol style="list-style-type: none"> ① 今日1日を振り返る ② それぞれの気づきを発見し共有する ③ 明日を拓く一歩を考える 3. 1人ワーク 今日起きたことを振り返る(6分) <ol style="list-style-type: none"> ① 今日の気づきは何か? ② 今日1日でどんな変化が起きたか? 4. 4人ワーク 1人で振り返ったことをグループで共有(20分) <ol style="list-style-type: none"> ① 変化の多様性を感じ共感を持つ ② ファシリテーションの可能性を感じる 5. 1人ワーク 自分にできそうなことを見つけ出す(6分) 明日からあなたは何をはじめるか? 6. 4人ワーク それぞれの明日への1歩を共有(10分) 気づきと変化から何を導いたかを共有 7. 全員ワーク それぞれの明日への1歩を全員で共有(15分) お互いの明日への1歩を見聞きし踏み出す勇気を感じる ※サークル(3重程度)で一体感演出。 手上げ5名(結果的に3名はMFで指名) 8. MF締め(3分) それぞれの明日を拓くためにファシリテーションが活用されることを期待

クロージングの目的を説明する司会者



振り返りを共有する参加者



最後は特大のサークルで



<参加者との交流>

ランチタイム	
日 時	2013年2月2日(土) 11:30~12:30
会 場	さっぽろテレビ塔 2階会議室 (すずらん、はまなす、あかしあ、しらかば)
当日の様子	<p>アイランド型にてスタート</p> <p>新たにシャッフルした6人一組をランチグループとし、着席。昼食をとりながら、歓談。テーブルごとに質問を用意し、交流のきっかけとなるように企画するも、それを利用する必要がないほどに積極的に話すグループが多かった。</p> <p>ごみの処理・午後の動き・本の販売についてなどのご案内をして休憩とする。</p> <p style="text-align: center;">食べるより話す</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">ランチ会の全景</p> <div style="text-align: center;">  </div>

茶話会	
日 時	2013年2月2日(土) 17:00～18:00
会 場	さっぽろテレビ塔 2階会議室(すずらん、はまなす、あかしあ)
当日の様子	<p>テーブルを撤去し立食形式にてスタート 下記内容を歓談タイムに入れながら実施。</p> <p>① 茶話会趣旨説明 ② 支部長からご挨拶 ③ 話題提供者からの一言 ④ 協賛企業の紹介</p> <p>6つのテーブルに飾られた菓子・飲料を手に、参加者同士交流。 笑い声も多い賑やかな茶話会となった。</p> <p style="text-align: center;">協賛して頂いた団体からの提供品</p>  <p style="text-align: center;">それぞれの想いを伝えあう参加者</p> 

総括

参加者

- ・総申込者数 173 名、キャンセル者 12 名、イベント参加者 161 名（予定は 150 名）。
- ・参加者の内訳、会員 63 名、非会員 93 名、非会員学生 5 名。

予定定員 150 名に対し、161 名の参加者となったことは、FAJ 会員、並びに北海道支部運営委員の綿密な広報活動によるものである。非会員の参加が多く、交流親睦事業としての目的を達成しているが、学生の参加が想定より少なかったことは、今後、改善が必要になる。

収支

総支出は当初予定していた金額を大きく下回った。収入では、参加者が予定より多かったことと、キャンセルが 7% と少なかったことが収入を増加させた。支出は、印刷費にて会員の好意によりチラシのデザイン代金が無料となったことと、茶話会の茶菓子が協賛団体からの提供品で概ね足りたことで圧縮できた。

しかし、支出を抑えることができたのは、会員や外部団体の好意である。この好意は、会員個人のつながりから発生したものであり、今後は北海道支部として外部団体と良い関係性を築いていく必要がある。

プログラムの進行

予定定員を大きく上回る参加者であったが、プログラムは予定通り進行することができた。20 名の実行委員、11 名以上のボランティアスタッフが自主的に活動した結果である。北海道支部、並びに道外の会員に感謝いたします。

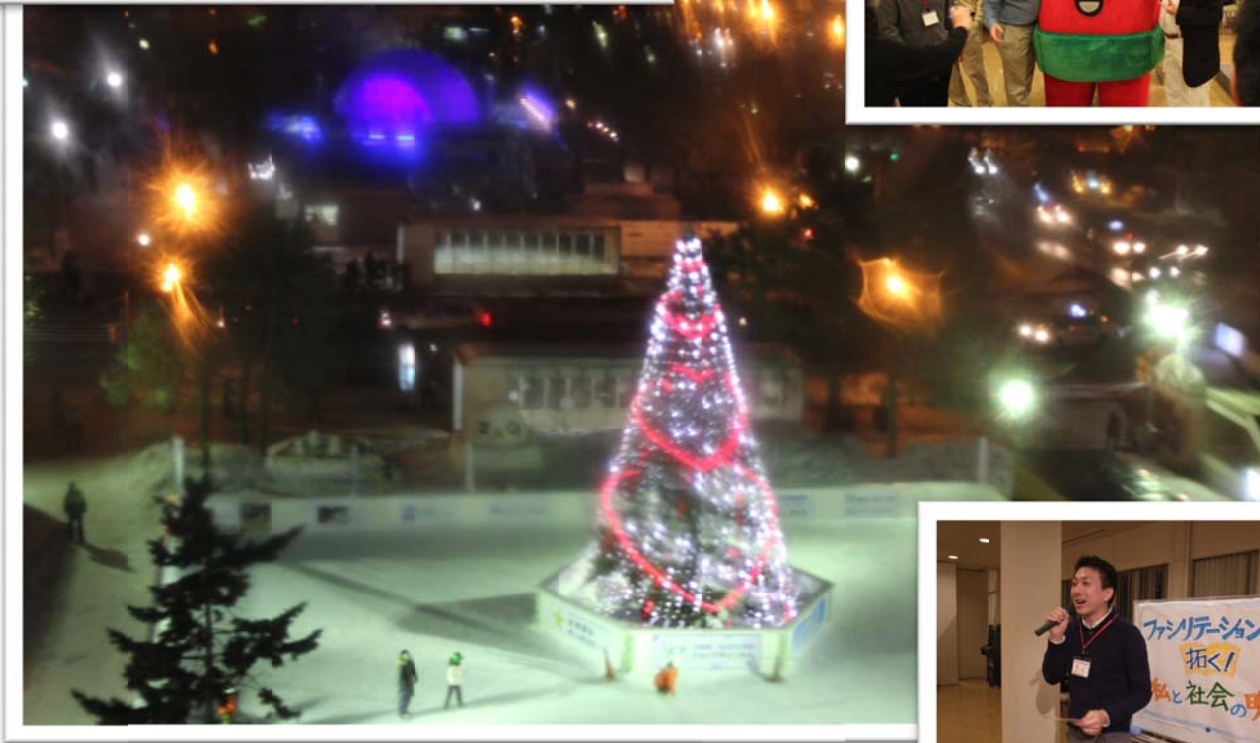
実行委員、ボランティアスタッフ名簿

実行委員会					
本部	櫻木 正彦	高田 豊			
事務局	篠原 誠	山口 博美	石橋 敏彦		
web担当	川野 寛				
プログラム	本宮 大輔	酒井 麻里	三神 英彦	杉田 恵子	三上 真広
会場	岡田 栄作	藤嶺 和隆	田中 敏彦		
泡会場	橋詰 敦樹	国本 昌秀	森下 祐作		
広報	梅原 泰祐	白方 通隆			
おもてなし	山田 佳代子				
ボラスタ					
B1 誘導	中川 努	長橋 良智			
1F 誘導	山口 光博	山内 温			
コート	中塚 由香子				
会場誘導	茂木 二三子				
名札	岩見 喜久子	木野 聡子			
受付	水田 順子	岩崎 真寿美	中澤 エミ		

アンケート

アンケートを集計した結果、イベントの満足度について‘大変良かった’‘良かった’と回答した方は80%を超え（未回答者を除く）、概ね参加者はイベントに満足していた。今後、同じようなイベントがあった場合、参加してみたいかという質問に対しても、‘はい’と回答した方は90%を超えており（未回答者を除く）、アンケートの集計結果から見ても、イベント開催の意義は強く感じられた。

一方で、‘移動が多すぎる’、‘会場が狭い’等の課題も出されていたので、今後のイベント開催については、上記の事項を改善するよう努めていきたい。

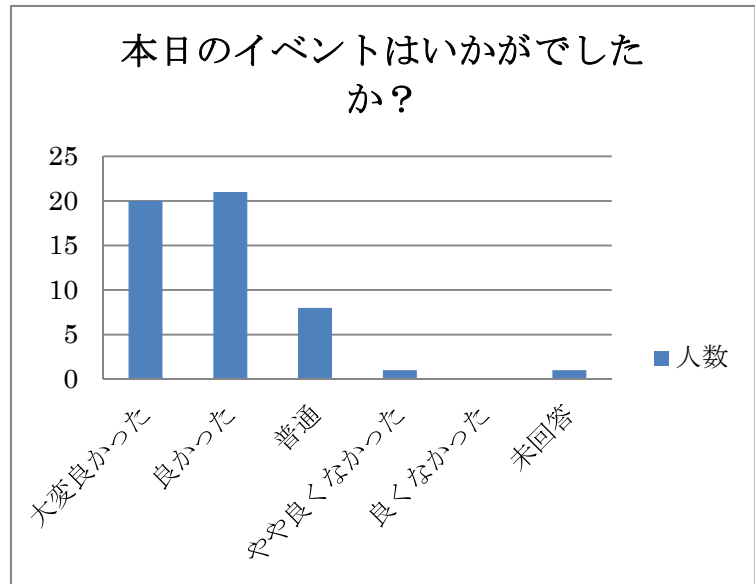


FAJ 支部イベントアンケート集計結果

集計者数 51 名

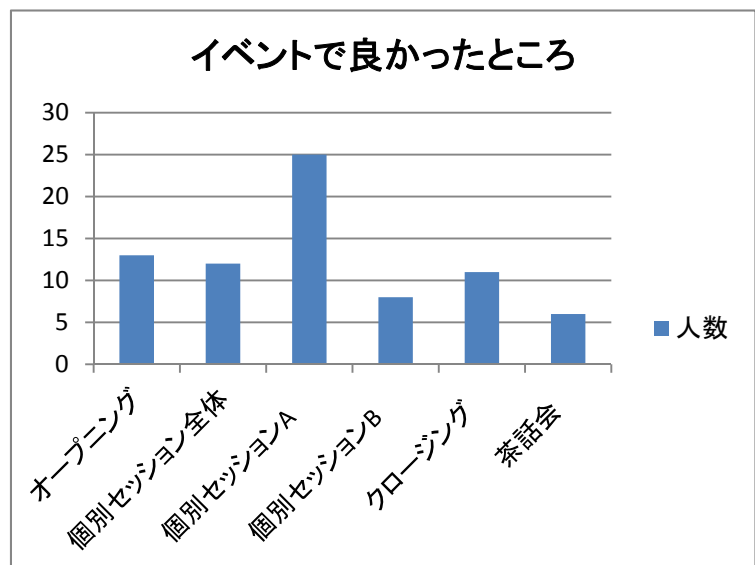
Q1 本日のイベントはいかがでしたか？

- ・大変良かった 20 名
- ・良かった 21 名
- ・普通 8 名
- ・やや良くなかった 1 名
- ・良くなかった 0 名
- ・未回答 1 名



Q1-2 本日のイベントで良かったところ（複数回答可）

- ・オープニング 13 名
- ・個別セッション全体 12 名
- ・個別セッション A 25 名
- ・個別セッション B 8 名
- ・クロージング 11
- ・茶話会 6 名



Q2 本日のイベントに参加して、「実践」に結び付けられるような気づきはありましたか？

感じたこと、学んだことなどをお書きください。

(複数回答と一部抜粋)

- ・自ら憲法を作り、実践する等 6名
- ・ファシリテーションの重要性等 4名
- ・たくさんの方と話をして、異業種交流が出来、明日へのヒントになった等 3名
- ・組織トレーナーについて知ることができた等 3名
- ・行動変化を促す重要性等 2名

Q3 本日のイベント全体を通してのご感想をお願いします。

(複数回答と一部抜粋)

良かった点

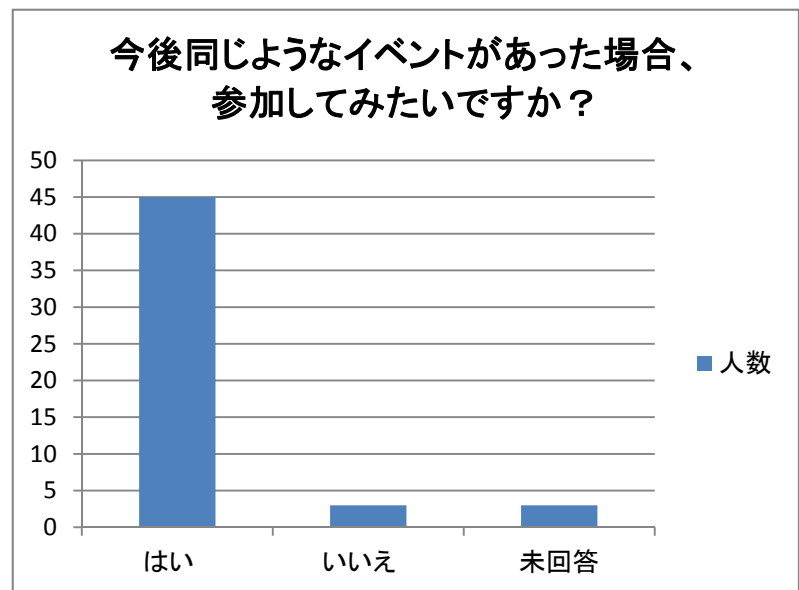
- ・活気があり、楽しかった等 8名
- ・ファシリテーションの言葉の意味がわかった 2名
- ・初めて会った人でも良い場があれば、アイデアを作れる
- ・スケジュールが準備してあってスムーズだった。
- ・実行委員の人が和気藹々として楽しそうでよかった。

課題

- ・移動が多すぎる 3名
- ・会場が狭い 2名
- ・昼食時間が短い。
- ・進行が少しグダグダだった
- ・午後のセッションの前に昼食の食べかすなどで机が汚れていたの、ウェットティッシュなどがあればよかった

Q4 今後同じようなイベントがあった場合、参加してみたいですか？

- ・はい 45名
- ・いいえ 3名
- ・未回答 3名



Q4-2 企画して欲しいイベントはありますか？

- ・ファシリテーションの基礎、やり方 2名
- ・ファシリテーションスキル
- ・フューチャーサーチ、U理論
- ・夫婦喧嘩の解決法
- ・組織的取組を活性化させるプログラム